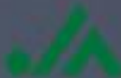


やさとの農業と産直の取り組み そして自給を考える

「農」を守る。「ふるさと」を守る。  JAやさと

- 1976年 たまごの産直始まる
- 1986年 きぬさや、いんげん、そらまめなど野菜の産直始まる
- 1987年 コシヒカリの産直始まる
- 1988年 納豆用極小粒大豆の供給始まる
- 1989年 納豆工場が完成し、生協へ納豆の供給始まる
東都生協無農薬体験田の取り組みが始まる
- 1990年 平飼卵の供給始まる



1997年 有機栽培部会設立

1999年 新規就農研修制度始まる「夢ファーム」

有機栽培部会の誕生

JAやさとの産直の取り組みから
「安全でよりおいしく より健康に」
を求める 消費者の求めに応えるため
これまで培ってきた土作りの技術を生
かし 減農薬栽培より更に環境に配慮
した有機栽培に取り組む事として
ここにJAやさと有機栽培部会を
1997年（平成9年）11月20日
に発足しました。

設立当初のメンバー



JＡやさと有機栽培部会方針

- 私たちは化学肥料、化学合成農薬を使用しません
- 地域の資源を有効に利用し循環型農業をめざします
- 安全でおいしい野菜を作るための努力を惜しみません
- 消費者との交流には積極的に参加し、消費者と連携を密にした活動を行います
- 輪作を重視します

有機栽培部会販売額推移

西暦	元号	販売金額	前年対比	部会員数
1997	平成 9			7
1998	10	11,442,069		10
1999	11	22,084,187	193%	13
2000	12	43,434,484	197%	16
2001	13	47,279,413	109%	18
2002	14	62,185,667	132%	18
2003	15	79,290,337	128%	19
2004	16	77,716,871	98%	22
2005	17	95,537,260	123%	24
2006	18	100,559,096	105%	25
2007	19	108,917,751	108%	26
2008	20	113,065,555	104%	28
2009	21	121,592,125	108%	29
2010	22	108,847,506	90%	24
2011	23	102,870,248	95%	24
2012	24	100,018,521	97%	24
2013	25	111,547,428	112%	23
2014	26	116,614,053	105%	23
2015	27	121,538,615	104%	24
2016	28	144,370,177	119%	23
2017	29	147,569,009	102%	24
2018	30	157,827,078	107%	26
2019	令和 元	149,675,621	95%	27
2020	2	160,412,354	107%	29
2021	3	179,581,020	112%	31
2022	4	178,378,710	99%	31
2023	5	150,287,233	84%	32

11月まで

◇今までの受入れ研修生 ※〔 〕内は出身地、年齢は研修開始時(ゆめファーム扱い)

平成11年(1期生)	坂下定雄(岩手 39歳)	13年4月卒業し独立
平成12年(2期生)	峰下高一(東京 35歳)	14年4月卒業し独立
平成13年(3期生)	荒木亮太郎(東京 25歳)	15年4月卒業し独立
平成14年(4期生)	大津謙(宮城 34歳)	16年卒業し独立 家庭の事情で休業
平成15年(5期生)	菅原宏樹(宮城 27歳)	17年4月卒業し独立
平成16年(6期生)	岩崎哲史(大阪 30歳)	18年4月卒業し独立
平成17年(7期生)	桑原広明(大阪 38歳)	19年4月卒業し独立 事情で離農
平成18年(8期生)	武藤大悟(東京 28歳)	20年4月卒業し独立
平成19年(9期生)	酒井裕介(岩手 26歳)	21年卒業し独立 家庭の事情で離農
平成20年(10期生)	鬼塚忠之(宮崎 29歳)	22年4月卒業し独立
平成21年(11期生)	大前敦司(北海道 28歳)	23年4月卒業し独立
平成22年(12期生)	福田武真(福岡 33歳)	24年4月卒業し独立
平成23年(13期生)	田中宏昌(東京 32歳)	25年4月卒業し独立
平成24年(14期生)	鈴木央(東京 34歳)	26年4月卒業し独立
平成25年(15期生)	黒澤晋一(宮城 35歳)	27年4月卒業し独立
平成26年(16期生)	出瀬英之(神奈川 37歳)	28年4月卒業し独立
平成27年(17期生)	森宗一(静岡 37歳)	29年4月卒業し独立
平成28年(18期生)	中村敦(茨城 39歳)	30年10月卒業し独立
平成29年(19期生)	厚憲一(兵庫 31歳)	31年4月卒業し独立
平成30年(20期生)	山形和貴(茨城 29歳)	2年4月卒業し独立
令和元年(21期生)	原田健(神奈川 45歳)	3年4月卒業し独立
令和2年(22期生)	阪本剛弘(大阪 38歳)	4年4月卒業し独立
令和3年(23期生)	竹内直樹(茨城 26歳)	5年4月卒業し独立
令和4年(24期生)	小林克次(神奈川県 44歳)	研修2年目
令和5年(25期生)	原洋平(北海道 44歳)	研修1年目

消費者の皆さんと交流会 感謝の集い















エン麦の
すき込み

5月上中
旬

























初期成育のそば畑の圃場



有機人参発芽後の様子



嘉良寿里地区の畑の状況



常陸秋そば

有機人参圃場

嘉良寿里地区の畑



有機レタス圃場



やさと菜園小松菜ハウス圃場



やさと菜園秋冬人参圃場

9月の畑の様子



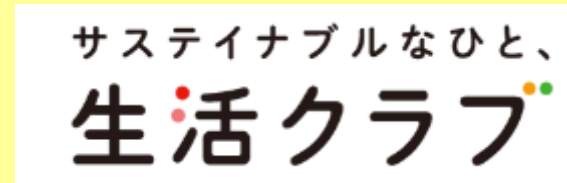
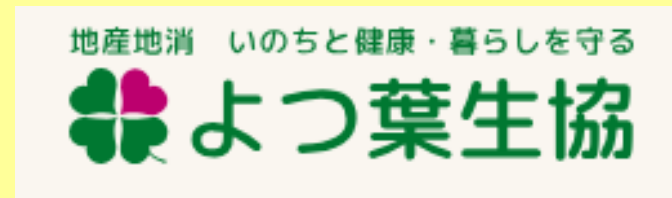
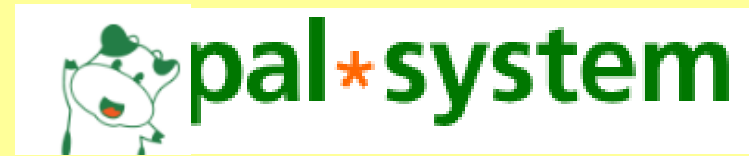


カゴメ人参ジュース用
やさとな豆用小粒大豆
生協向けネギ
駅そば刻みネギ用ネギ





有機栽培部会の主な販売先



学校給食



2016年 野菜カットセンター稼働 2021年 ミールキット販売始まる



やさと納豆



東日本エンタープライズ 向け刻みネギ



唐揚げ済みの豚肉で手間いらず。
黒酢入りの甘酢あんがおいしい!

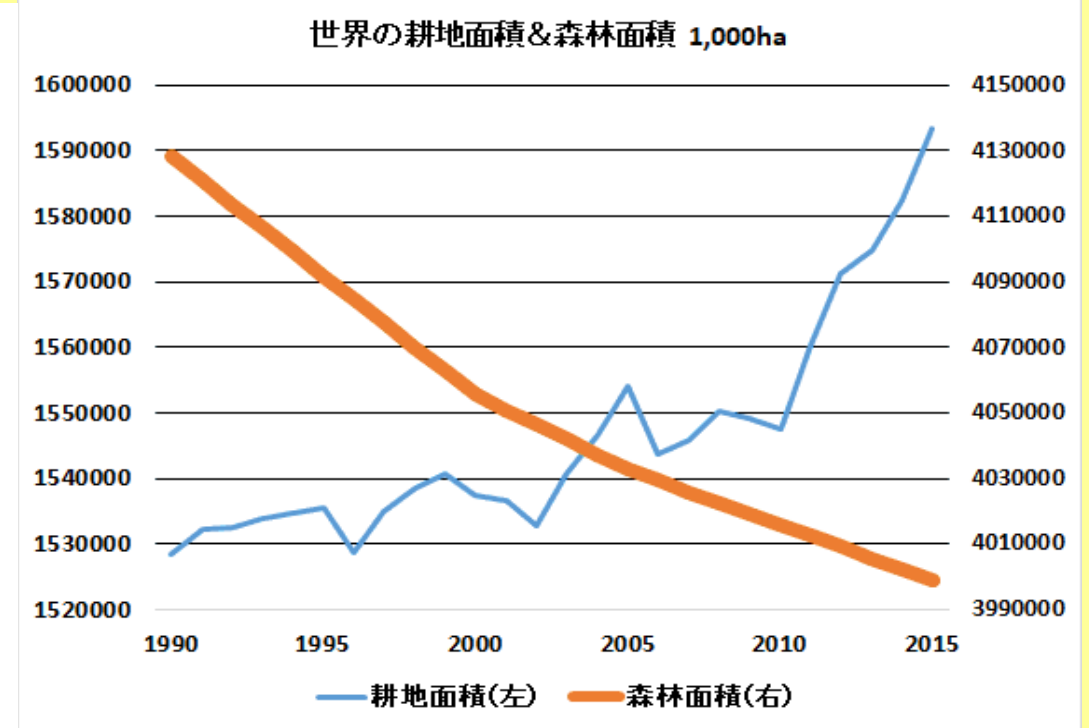
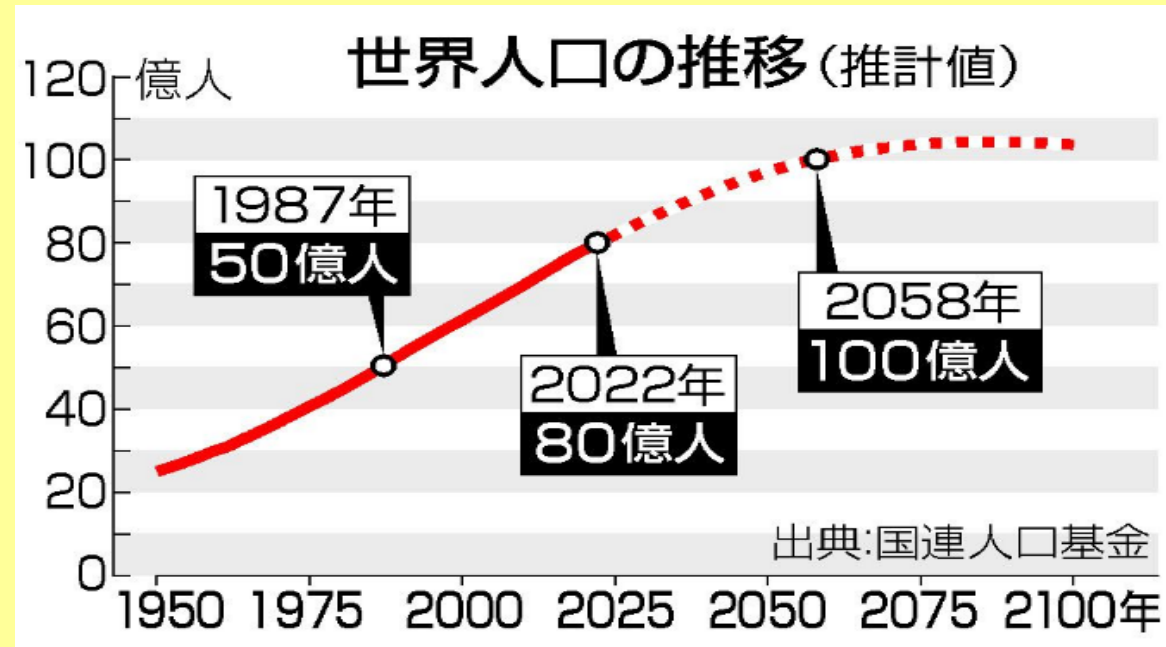
酢豚 (2人前)

セット内容: 豚唐揚げ(国産)120g、玉ねぎ(国産)80g、にんじん(国産)20g、ピーマン(国産)20g、たけのこ(水煮・中国産)80g、甘酢たれ(黒酢入り)70g



お届けイメージ

ミールキット

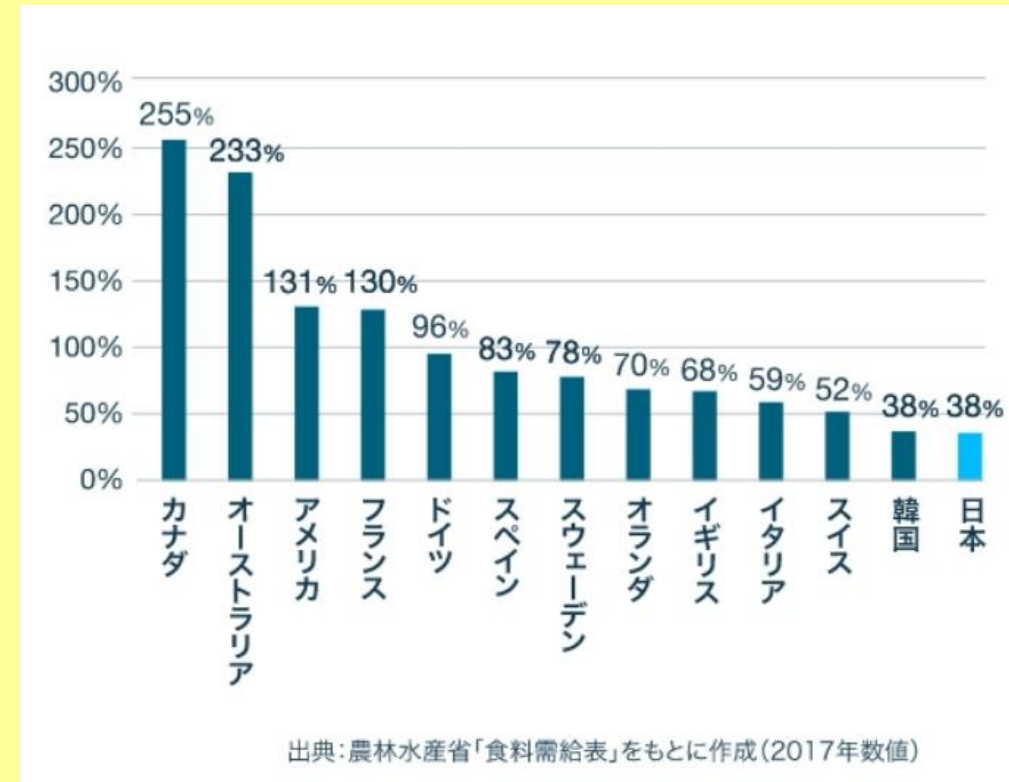


食料農業農村基本法の見直し

海外の安い農産物の輸入



日本国内の食料自給率を限りなく増加の方向に導く政策と、運動、は喫緊の課題である！



食料農業農村基本法の見直し

有機米研究会の取り組み



持続可能な食料生産システムの開発と普及

- 1, 環境調和型農業の推進
それぞれの地域の環境に適合した農業の実現
- 2, 地域資源循環型農業の取り組み
地域にある資源を限りなく利用した環境に配慮した農業の実現
- 3, 気候変動においても対応できる品種開発
35度を超える気候でも対応出来る品種の開発
- 4, 義務教育課程における国内農業への理解を進める教育の推進
特に義務教育の早い段階において食料の自給と国内農業の関係を教育することの推進
- 5, 農民、消費者、民間企業、政府など全ての関係する皆さんが将来の食料問題と環境破壊に一丸となり立ち向かう事が必要。



代表プロフィール

1994年、八郷生まれ。2018年早稲田大学国際教養学部卒業。在学中にイタリアに留学。大手メーカーなどでの勤務を経て、20年7月に地元に戻り。里山の豊かな自然をうまく生かして暮らす移住者が多い一方で、若者の流出などによる人口減少、小中学校の統廃合といった課題を知る。八郷の良さを残し、八郷に魅力を感じる人を増やしたいという思いで、「八郷留学」を立ち上げた。



原部 直輝

八郷留学とは？

ブランドメッセージは「暮らしも遊びも物語も、作るのは全部きみだ」。
地域内外の小学生が八郷に“留学”するという設定で、泊まりがけで自然体験や八郷ならではの里山の暮らしを体験してもらうプロジェクト。

プログラム例



5月 ホタルの棚田で田植え



9月 稲刈り

留学とは？

グラムには子どものみが泊りがけで参加し、滞在中の食事はもちろん、食料も田んぼや畑で子どもたちが自ら作る。

グラム例



滞在中の食事は全て自分達で作る



薪で炊飯

八郷留学とは？

自然遊びの醍醐味は、ルールがない中で、何もないところから楽しみを自分の手で作り出すこと。
八郷留学での経験を通して、AIが人間に取って代わる将来、人間に残された「創造」という営みを楽しめるようになってほしい。

プログラム例

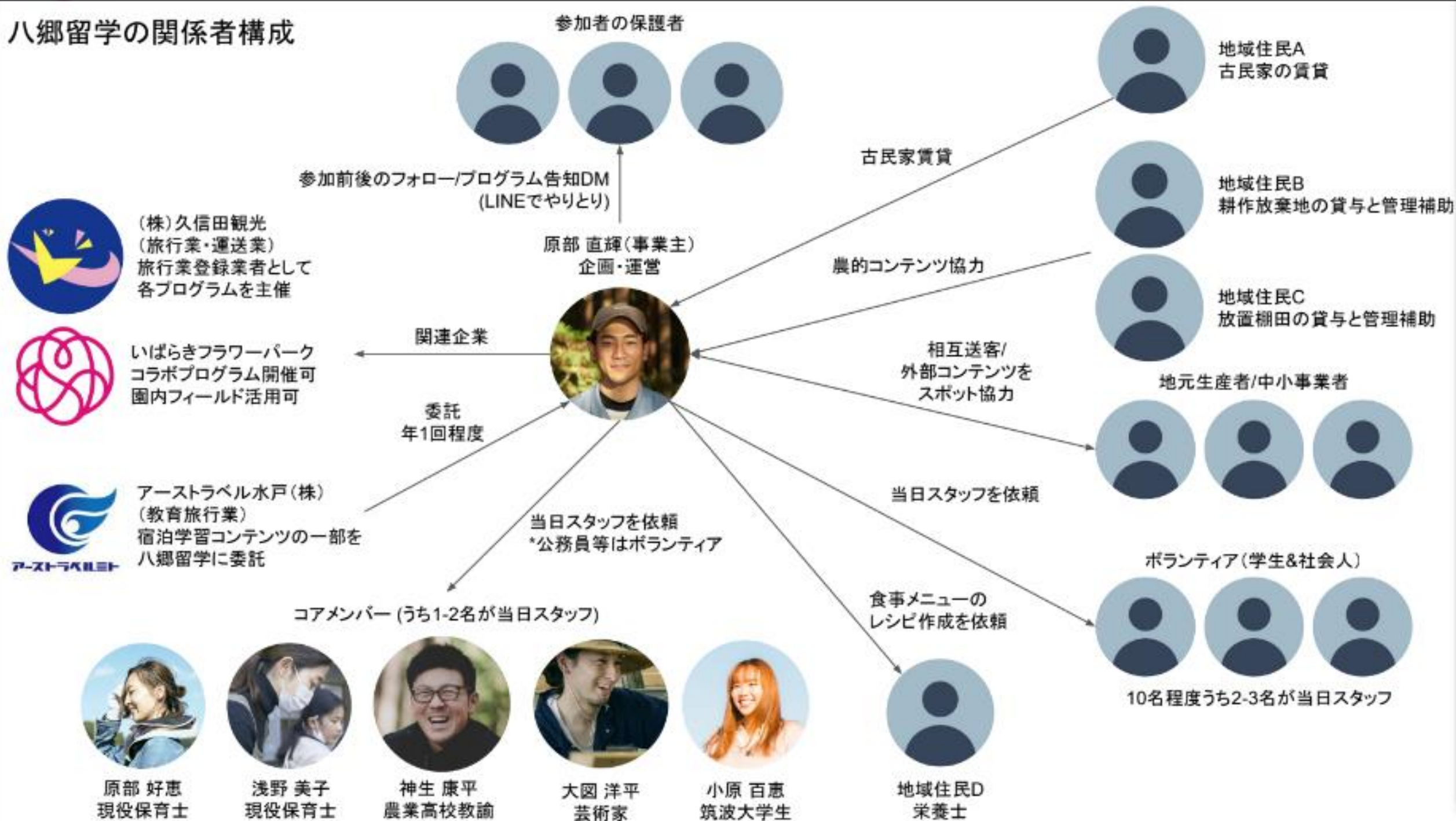


10月 芋掘りと焼き芋



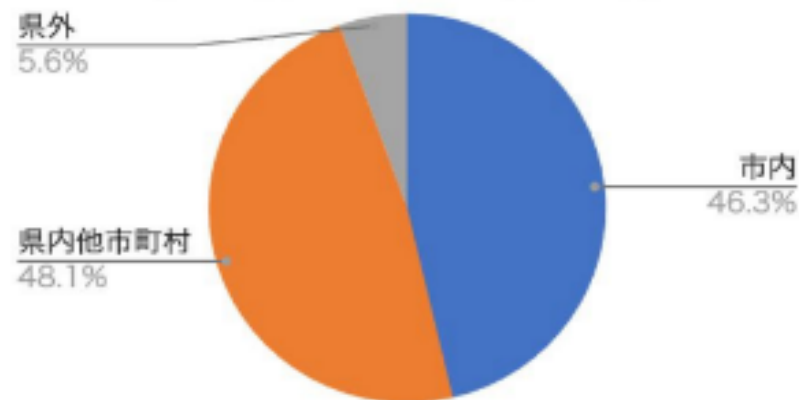
12月 餅つき

八郷留学の関係者構成



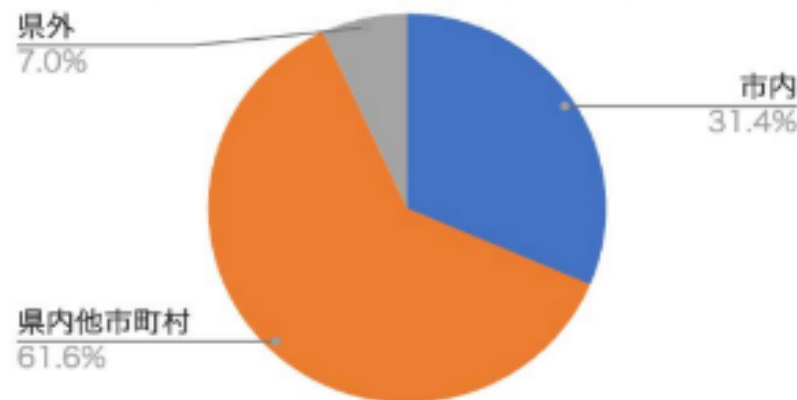
顧客状況

参加者の出身地 [R3年]



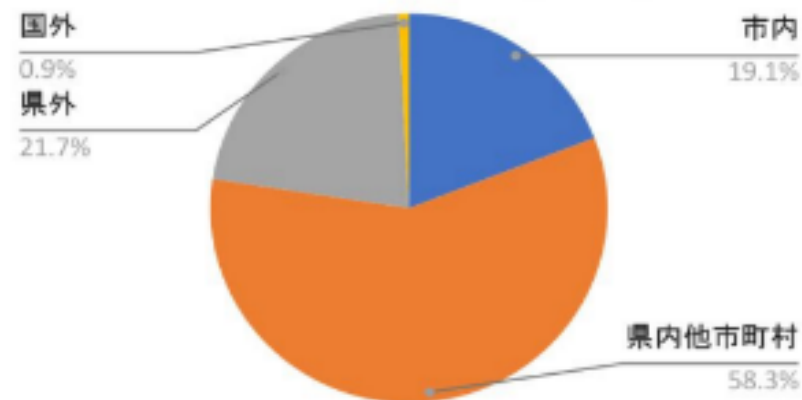
期間: 2021年 (6回開催)
N=54 (期間内のおのべ参加人数)

参加者の出身地 [R4年]



期間: 2022年 (11回開催)
N=86 (期間内のおのべ参加人数)

参加者の出身地 [R5年]



期間: 2023年～2023年8月 (10回開催)
N=116 (期間内のおのべ参加人数)

近江商人の言葉に「三方良し（お客様良し、世間良し、自分に良し）」がある、もう一つ加えて
四方良し＝「未来に良し」

全ての人が、豊で未来に向けて希望を持って安心して暮らせる社会の構築出来る取り組み



有機栽培部会の皆さん



朝日里山農場で研修中の
井上さん夫婦



夢ファーム農場で研修中の
原さん夫婦

御清聴ありがとうございました

